

委員および一般からの意見

委員からの流域委員会の審議に関するご意見、ご指摘(2002/1/23~2002/1/30)

2002/1/30

メール

原田委員(淀川部会)

河川管理者への質問・提案

先日時間不足等でできなかつたり、その後考えた質問事項、コメント事項がいくつかあります。簡単ですが記させていただきます。内容不明のときは、電話等でお問い合わせいただければと思います。

1: モデルケースとする雨量について

最初の部会から何度もとりあげられていることであり、いまさら質問するのは、委員としてもはずかしいことなのですが、あえてさせていただきます。

現在は、28年降雨の2倍量を中心に試算結果を示されている。その際、降雨の空間分布は同じ、降雨時間も同じ(すなわち単位時間あたりにふる雨の量が倍)とされていると説明があった。2倍にするときに、そのような設定が現実的なのか?より空間的にも時間的にも分散する(広い範囲に、長い時間をかけてふる)ほうが現実的であるようなことはないか、等の懸念をもつ。気象関係の専門家のコメントがあるとありがたい。

また、「なにがおこるかわからない」なら、「考えるためのモデルとしてどんなことを考えてもよい」というわけではないのは当然であろう。不確実性のもとで「なにはわかっている(はっきりいえる)が、なにはいえない」等を、現在の設定の現実性、モデルとしての妥当性についてのより詳細な説明とともに、示していただくのが望ましいが、それが十分にはむりであっても、その方向への努力は必要と思う。

2: モデルケース計算時の森林等からの流出の設定等、各地点の流量の計算に用いられているモデルの妥当性、あるいはモデルのもつ不確実性について知りたい。

治水政策をたてるという重要な目的のためのモデルなのであるから、十分なドキュメンテーションが存在するものと想像する。くわしいことを部会で説明することは不可能であろうから、出典等をおしめしいただくとともに、この試算の弱点(不確実性)については部会でもおしめしいただければと思う。

また、試算では28年時点以後につくられたダムは考慮されているが、山の保水力の変化等が考慮されているとは言及がなかったが本当か?

3: 堤防のいくつかのオプションについては、コストとメリットで比較されていたが、ダムの治水面での評価も同列に比較できる部分はすべきと考える。

- 4：上野盆地関連の資料での被害軽減の示し方だが，浸水面積と深さでは，効果が小さめに見積もられることはないか。想像だが，河川からはなれた（高い）ところほど財産の集積がある可能性もあろうから。たとえば，被害額の分布地図があるといいのではないかと思った。
- 5：スーパー堤防のコストについては，スーパー堤防設置後の堤防部分の地価の上昇があるなら，それをコストから差し引く（内部化する）ことにより，より低コストになると考える。また，もし地価上昇がありながらそれを内部化しないなら，将来，批判もおこりそうに思う。参考までに，これまで施工された部分での地価の変化（周辺地の地価変化との比較）のデータを示されるといいかと思う。
- 6：前回送りました高水敷へ水をあげる問題についての情報を，次回でなくても結構ですのでお願いします。

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2002/1/23～2002/1/30）

	発言者 所属等	傍聴 希望	受 取 日	内 容
1	日本野鳥の 会 中村桂子氏	×	1/26	第 11 回淀川部会（前半：一般からの意見聴取）の進め方について ・会議方法 会場からの意見を求める時間が設けられているにもかかわらず、委員の質問に 時間を取り、発言が出来ないのは大変不本意です。
2	佐竹孝夫氏	×	1/28	第 11 回淀川部会を傍聴した感想が寄せられました。 別紙 1 参照下さい。
3	関西のダム と水道を考 える会 浦野穩正氏	×	1/28	先日は第 11 回淀川部会において、意見発表の機会を頂戴し、ありがとうございました。 今後もこのような機会をお創りください。積極的に参加させて頂きたいと思 います。 当日は、意見聴取の会に十分な時間をお割り頂いた関係から、宮本事務所長様 からの重要なテーマ（治水）の説明が駆け足のような形になったのは大変残念 でした。 再度時間をお取り頂くことは無理でしょうから、1 点だけ質問をお許し願え たらと思います。 質問内容：破堤対策の費用としてお示し頂いたコスト（約 7,500 億円ほか 2 件） の計算根拠をお示しください（計算式とその説明）。 よろしくお願い申し上げます。
4	玉木正豊氏	×	1/29	先日の第 11 回淀川部会で報告させていただいた玉木です。 会議の進め方について以下のような感想を持ちました。老人のお節介かと思 引けませんが、ともあれ、ご参考までに。 1．発表時間が短かすぎる。仕方のないことでしょうかこれが実感です。1200 字の文章を 6 分で解説するのは、もともとムリです。 1．質問が特定の報告者にかたよる傾向あり。逆にいうと、質問されれば補 足説明ができます。質問を、ある程度は各人に「振る」よう、司会者の気配 りが欲しい。 1．全くのアマチュア市民は私 1 人のようでしたが、こうした場には、もっと 「素人」を参加させるほうが、いいのではないですか。 1．テープから起こして発言記録とするそうですが、その場合は、発言者に補 足・訂正する手順を踏んで欲しい。 ともあれ、私には面白い経験でした。今後のご活躍を祈ります。返信のお気遣 いはご無用です。
5	大阪都島少 年硬式野球 協会 谷口準氏	×	1/30	大阪のグラウンド事情は野球人口やチーム数を考えると全く悲惨、と言っても過 言ではない状況です。あの場所は本当に我々にとってはものすごく貴重で、い わば生き甲斐とも言える場所です。青少年は勿論の事、大人までもが悲喜交々、 様々な思いをし、またチームを卒団していった人達には大きな思い出の場所 にもなっておりますでしょう。さる卒団生より、「グラウンドがなくなれば我々が 帰るところがなくなってしまうですね」という電話も事実ありました。そう、 言い換えればそこは「コミュニティ」なのであります。1 万数千の署名の意味

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
				<p>は、そんな我々の活動をよくご存知の人たちが、こんな素晴らしいコミュニティを守るべきだ！という応援意志の表現、ということであります。今回の計画が、本当に地域住民にとって青少年育成よりも、我々のこういった大きな思いよりも重要で、どうしてもこの場所では達成できない、ということでしたら我々も諦めざるを得ないかも知れません。しかし、この我々の思いなどが大変大きなものである事、および代替地が他にあるということでありましたら、淀川水系委員の皆様、および国土交通省他関係省庁の皆様、現状視察とその場での意見聴取の上、どうか今回の計画、再考を切にお願いいたしたいと存じます。尚、これは無論小生個人の意見ではございません。</p>
6	浅野晴也氏	×	1/30	<p>余野川ダムの中止を要望する葉書が届きました。 別紙 2 参照下さい</p>

謹啓。寒冷の雨の昼下がりになりました。

「淀川推計流域委員」のご隆会、心よりお慶び申します。

熱い、意見に直接触れることができ、自分の論考の至らなさを痛切に感じました。

また、クラシカルな視点でやはり論争になることを知りました。

「淀川教室」の件ですが…。「教育」は誰の手に？ は古くて、新しい問題と思います。

為政者は教育を全て抱えたいものです。でも！ 「体験する淀川」では子供たちの自由な発想が欲しいのだと思います。

何度も出てましたが「海の魚が、どうして淀川で釣れるの！？」は『伊東家の食卓』風は「釣れるから釣れる」のですが、沢山釣れるのかどうか、姿形はどうか、棲み別けと器官の変化など、大変な問題になります。そして、子供たちを実習に連れ出す「安全・衛生」問題が重要になります。何処かで出ていた「整備」と「体験」の二律背反を含んだ、大きな問題と言えるでしょう。

私は、個人的に『関西のダムと水道を考える会』のデータに素朴な疑問があります。

① 余った水は何処に行ったのか。

② 今、水源は何処なのか。

の、二点です。計算上余る水ですが、何を指して「余る」と言うのでしょうか。渇水で琵琶湖の水量の減少が日々伝えられます。暑い夏の日々は、一メートルを越えます。

毎日見る、宇治川の観月橋のスケールも大きく、浮かび上がります。それでも、「水は余っている」のでしょうか。

渇水は計算でなく、活きる余裕だと思います。

こんな考え方は、一方的でしょうか。本当に余裕があるなら、私たちは水を無駄にせず、暮らさねばなりません。

こんな、本当のところの啓蒙も宜しくお願い致します。

気がついたことを書きつづりました。

夕方から、予定があり、4時過ぎに失礼致しました。

有り難うございました。今後ともどうぞ宜しく、ご指導ご鞭撻のほどをお願い致します。

最後になりますが、皆様のご発展とご健勝祈念致します。

右の壁際で、ビデオを構えてられた女性の方ですが、お身体大丈夫ですか。大分風邪が苦しくて咳き込んでられました。ご自愛下さい。失礼致します。敬具

佐竹 孝夫・九拜

余野川ダムを中止
して下さい。

「2001年12月3日付、太陽エネルギー環境保
協会 及び 夕田研より余野川ダム
中止要請に賛同します。」

浅野晴也